

## 岐阜県とその周辺の地震活動

(令和6年10月1日～10月31日)

### 【概況】

今期間、岐阜県内で震度1以上を観測した地震は4回でした。

- ① 14日16時49分 岐阜県飛騨地方の地震(深さ5km、M2.3)により、高山市で震度1を観測しました。
- ② 19日04時59分 岐阜県飛騨地方の地震(深さ5km、M2.6)により、下呂市、郡上市で震度1を観測しました。
- ③ 21日15時19分 岐阜県美濃中西部の地震(深さ17km、M3.8)により、岐阜市、各務原市、岐南町、笠松町、輪之内町、瑞穂市、海津市で震度2を観測したほか、県内の多くの市町村で震度1を観測しました。また、長野県、愛知県、三重県、滋賀県で震度3～1を観測しました。
- ④ 29日10時50分 岐阜県飛騨地方の地震(深さ6km、M2.2)により、高山市で震度1を観測しました。

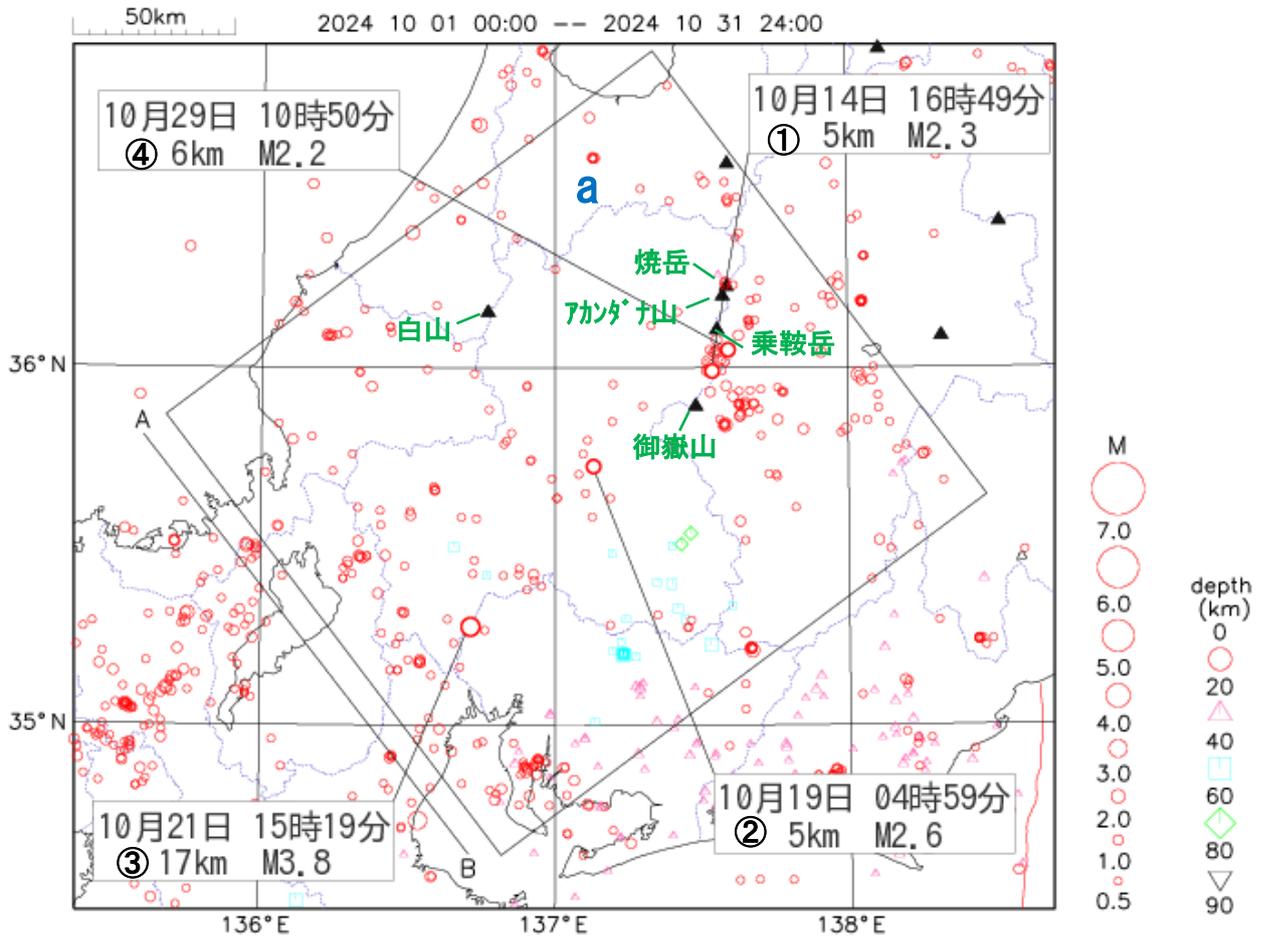
### 【各地の震度】

第1表 岐阜県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度

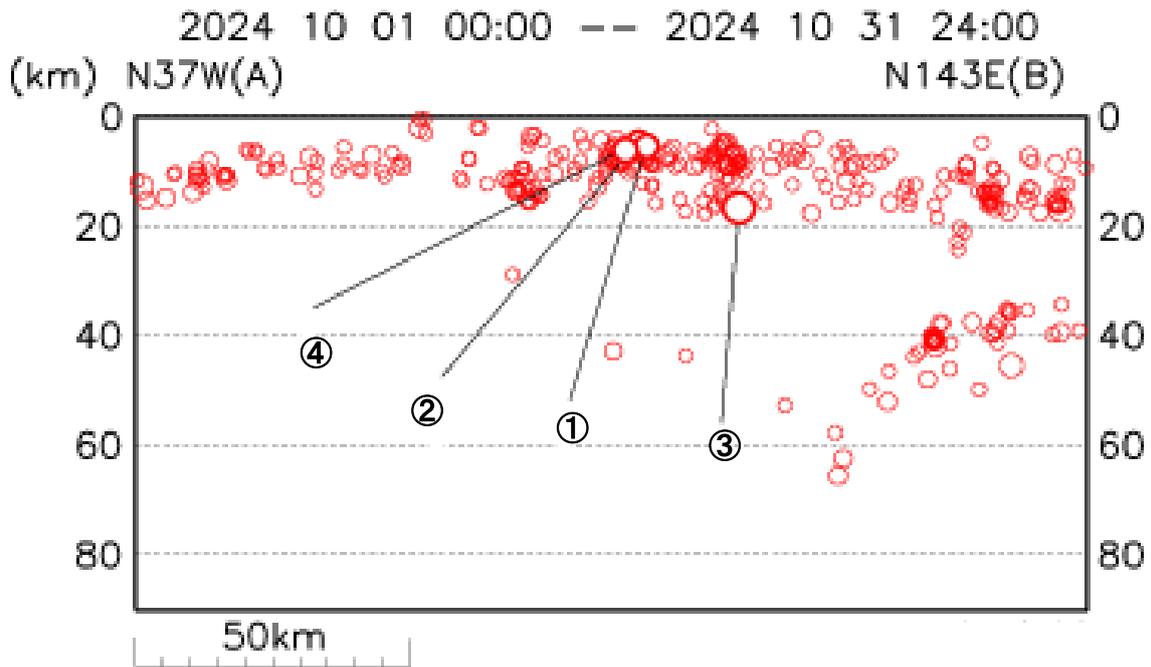
	月 日 時 分	震央地域名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
①	10月14日16時49分	岐阜県飛騨地方	35° 59.4'	137° 32.2'	5km	M2.3
	震度 1 : 高山市高根町*					
②	10月19日04時59分	岐阜県飛騨地方	35° 43.4'	137° 07.8'	5km	M2.6
	震度 1 : 下呂市金山町*, 郡上市八幡町旭*, 郡上市和良町*					
③	10月21日15時19分	岐阜県美濃中西部	35° 16.5'	136° 42.8'	17km	M3.8
	震度 2 : 岐阜市柳津町*, 各務原市川島河田町*, 各務原市那加桜町*, 岐南町八剣*, 笠松町司町*, 輪之内町四郷*, 瑞穂市別府*, 海津市海津町*					
	震度 1 : 中津川市山口*, 瑞浪市上平町*, 恵那市上矢作町*, 美濃加茂市太田町, 美濃加茂市西町*, 土岐市肥田*, 可児市広見*, 坂祝町取組*, 富加町滝田*, 川辺町中川辺*, 八百津町八百津*, 御嵩町御嵩*, 岐阜市加納二之丸, 岐阜市京町*, 大垣市上石津町*, 大垣市墨俣町*, 大垣市丸の内*, 関市若草通り*, 関市武芸川町*, 羽島市竹鼻町*, 養老町高田*, 垂井町役場*, 関ヶ原町関ヶ原*, 神戸町神戸*, 安八町氷取*, 揖斐川町東杉原*, 揖斐川町谷汲*, 揖斐川町春日*, 揖斐川町東津汲*, 大野町大野*, 岐阜池田町六之井*, 北方町北方*, 瑞穂市宮田*, 岐阜山県市大門*, 岐阜山県市高富*, 本巣市下真桑*, 本巣市早野*, 海津市南濃町*, 海津市平田町*					

④	10月29日10時50分 岐阜県飛騨地方 36° 03.0' 137° 35.4' 6km M2.2
	震度 1 : 高山市高根町 *

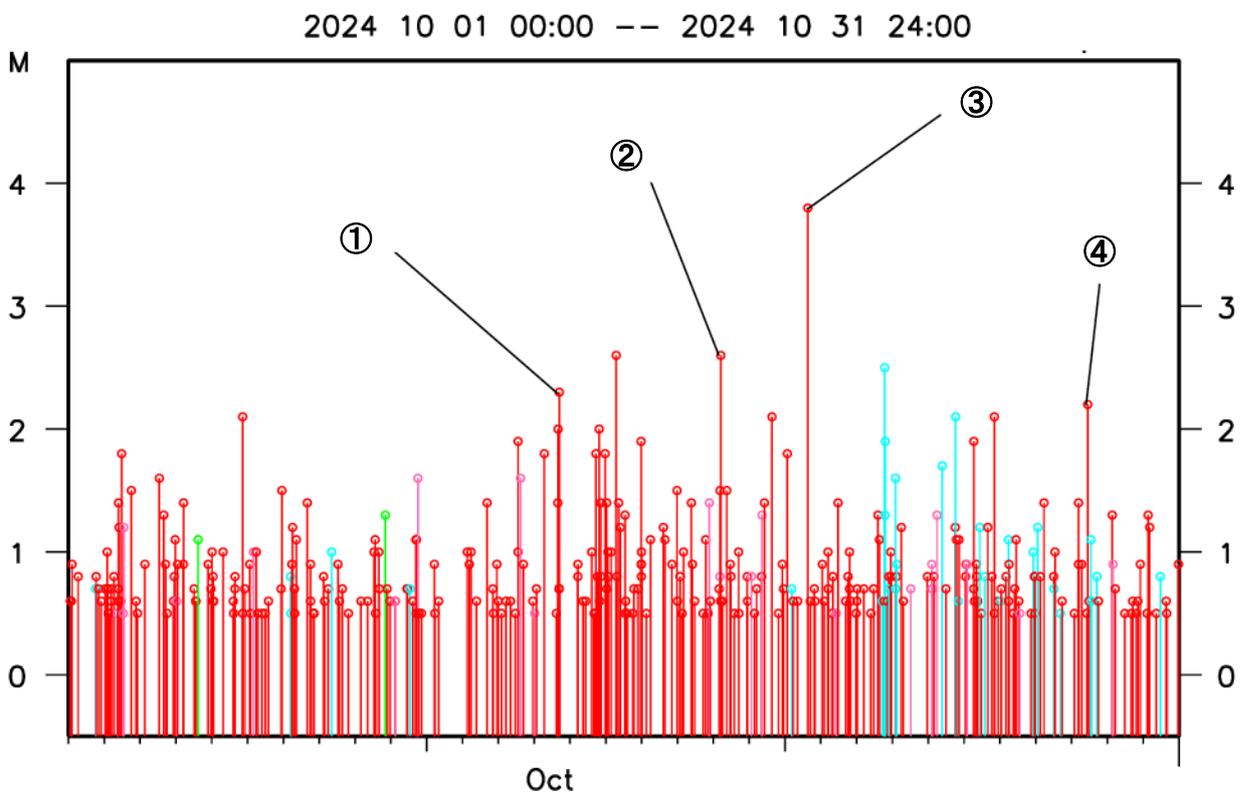
\* 印がついている観測点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。



第1図 令和6年10月の岐阜県と周辺地域の震央分布図  
 期間：令和6年10月1日～10月31日（深さ90kmまで，M：0.5以上）  
 ※図中の ▲ は活火山を示します。



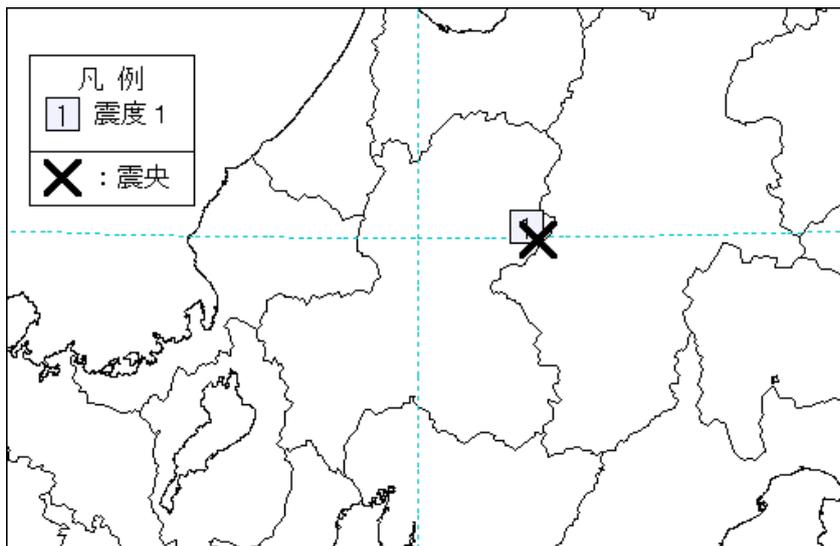
第2図 令和6年10月の第1図領域a内A-B断面図  
(期間：令和6年10月1日～10月31日)



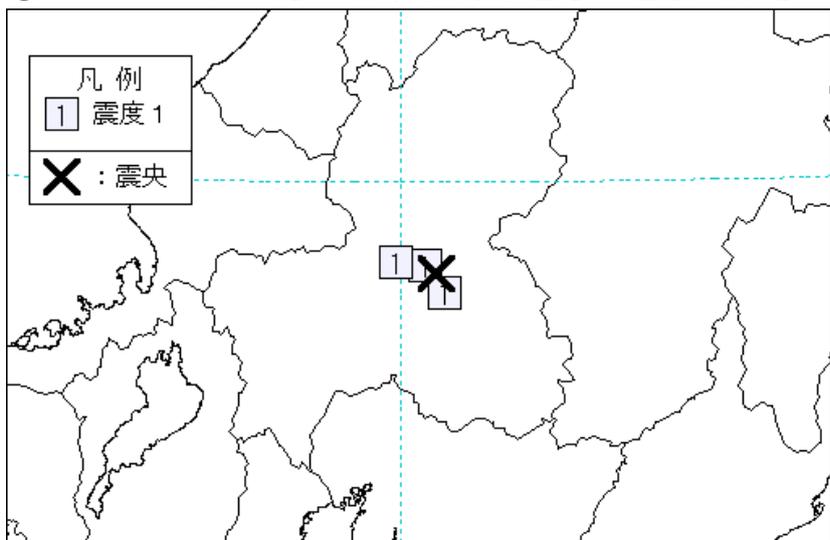
第3図 令和6年10月の地震活動経過図 (第1図領域a内)  
(期間：令和6年10月1日～10月31日)

**【震度 1 以上を観測した主な地震の震度分布図】**（×は震央）

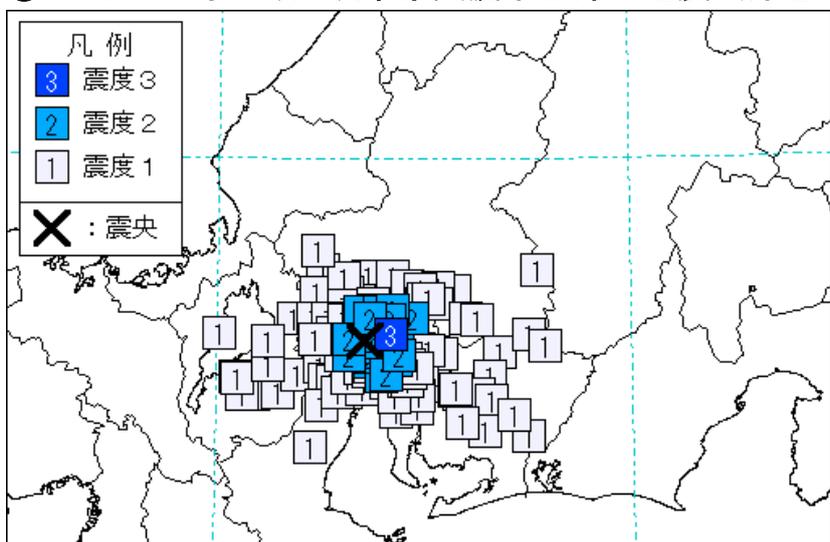
① 14 日 16 時 49 分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ 5 km、M2.3）の震度分布図



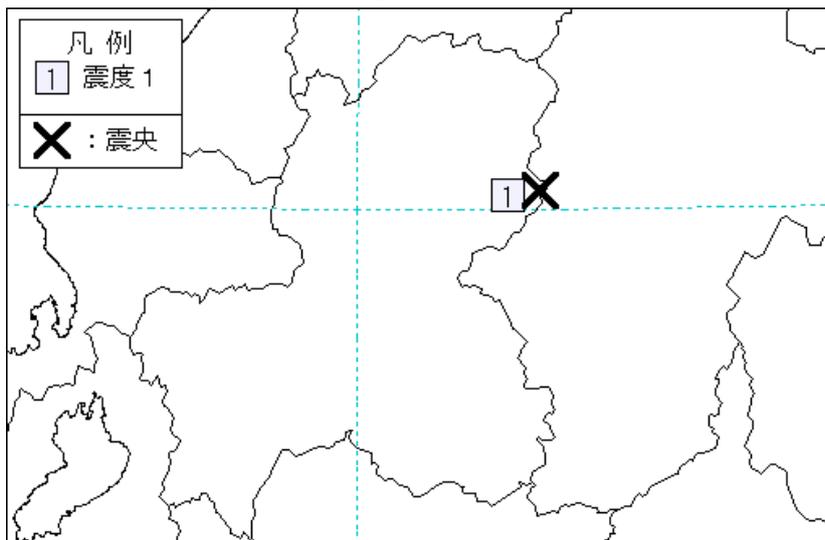
② 19 日 04 時 59 分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ 5 km、M2.6）の震度分布図



③ 21 日 15 時 19 分 岐阜県美濃中西部の地震（深さ 17km、M3.8）の震度分布図



④ 29日10時50分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ6km、M2.2）の震度分布図



【最近1年間の月別・震度別地震回数】

第2表 岐阜県内で震度1以上を観測した地震の月別・震度別回数表（令和6年10月31日まで）

震度	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	合計
1	3	2	62	11	5	5	7	3	1	4	0	3	106
2	0	1	18	1	0	2	0	4	1	0	0	1	28
3	1	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9
4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
5弱	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	3	88	12	6	8	7	7	2	4	0	4	145

※過去1年間に、岐阜県内で震度3以上を観測した地震は以下のとおりです。

- ・令和5年11月8日：岐阜県飛騨地方でM3.3の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月1日：石川県能登地方でM7.6の地震が発生し、高山市、飛騨市で震度5弱を観測しました。
- ・令和6年1月1日：能登半島沖でM4.0の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月1日：石川県能登地方でM6.1の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市、下呂市で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月1日：石川県能登地方でM5.8の地震が発生し、白川村、飛騨市で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月1日：能登半島沖でM5.8の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月2日：石川県能登地方でM5.6の地震が発生し、白川村で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月3日：石川県能登地方でM5.6の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市で震度3を観測しました。
- ・令和6年1月6日：石川県能登地方でM5.4の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市で震度3を観測しました。
- ・令和6年3月23日：岐阜県美濃中西部でM4.6の地震が発生し、揖斐川町で震度4を観測しました。
- ・令和6年4月30日：岐阜県飛騨地方でM3.6の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。  
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・本資料は速報のため、後日の調査により更新されることがあります。
- ・2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。
- ・この資料の問い合わせ先 岐阜地方気象台 防災担当 電話：058-271-4108（平日8:30~17:15）
- ・この地震概況は、岐阜地方気象台ホームページの「岐阜県の地震概況」に、過去の資料とあわせて掲載しています。

[https://www.data.jma.go.jp/gifu/shosai/jishin/gaikyo/jishin\\_gaikyo.html](https://www.data.jma.go.jp/gifu/shosai/jishin/gaikyo/jishin_gaikyo.html)

※南海トラフ地震に関連する情報について

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nteq/index.html>

## ◆概要

2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震による津波により、多くの命が失われました。津波から国民の生命を守るために「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。

因みに11月5日の由来は、嘉永7年（1854年）※11月5日に発生した安政南海地震（M8.4）で、和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて暗闇の中で逃げ遅れていた人達を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日で、2015年に開かれた国連総会で11月5日を「世界津波の日」に制定することが決まりました。（内閣府防災情報のページより一部引用）

※旧暦で11月5日（新暦では12月24日）



和歌山県広川町の「稲むらの火の館」  
(岐阜地方気象台 撮影)

## ◆津波に備えよう

- ・津波警報・注意報を見聞きしたり
- ・海辺で強い揺れを感じたり
- ・長くゆっくりした揺れを感じたら

**すぐに海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう！**

**津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません！**



## ◆津波フラッグ

※津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘など様々な手段で伝えられています。

令和2年6月、新たに伝える手段として「津波フラッグ」が加わりました。聴覚に障害をお持ちの方や遊泳中の方に、津波警報等の発表をお知らせする際に有効です。

(※津波警報等：大津波警報、津波警報、津波注意報の総称)



海岸で津波フラッグを振っているイメージ

(公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)

旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることができます。